

コミュニティ防災教育の推進



現状・課題

- 将来的に発災が危惧される巨大地震等の自然災害に備えて、**事前防災の強化の観点から、防災教育を通じたコミュニティでの自助・共助による防災力の強化**が喫緊の課題。また、地域の多世代が一体となり、互いに助け合う心を持ち、**共助の力を高めていくことが必要不可欠**であるが、これまでの取組は、個人や個別団体の成長に資する防災教育活動支援に留まっている。
- このため、学校教育などの限られた機会だけでは、**幅広い世代への防災教育の展開が十分ではない**ことから、**対象を学校教育を含む地域全体（コミュニティ）へ広げていくことが必要不可欠**。

方針・事業の方向性

**防災教育・周知啓発WG
防災教育チーム提言（R3.5）**

- 学校と地域が連携して防災教育を行うことも効果的であり、（略）会議等の開催にとどまらない、取り組み内容の充実など一層の連携が必要である。
- 防災教育では、（略）地域の中で助け合い、皆で生命を守っていくことができるようにすることも大切な目的である。

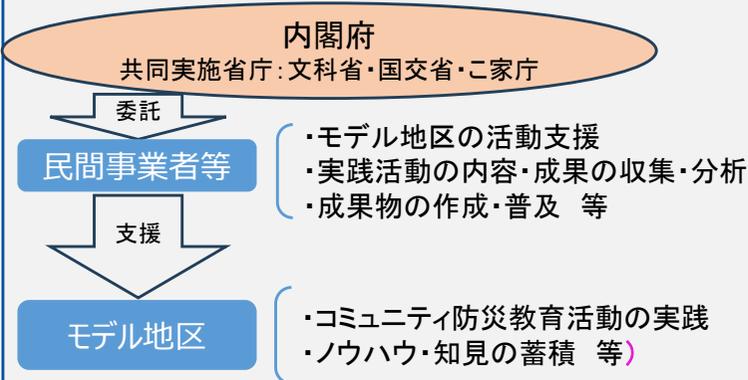
**防災庁設置準備
アドバイザー会議
報告書（R7.6）**

- 「共に助かる」行動をとるため、地区防災計画の策定等を通じた、地域における防災の担い手として災害時要配慮者等のサポートも行えるような地域防災に主体的に参画する人材の育成、学校や公民館、地元企業等の連携によるコミュニティ防災教育の推進など、地域コミュニティレベルでの関係者間の相互支援を促進する取組を推進する。

事業内容

- **地域住民・団体等と教育機関、地元企業等が連携して地域全体（コミュニティ）による防災教育活動を推進し、優良事例の形成・蓄積、横展開のための事業を実施。**

実施スキーム



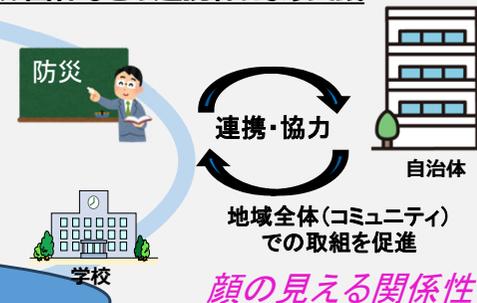
モデル地区



大学等を含む学校、保育所や認定こども園、公民館、コミュニティセンター、地元企業、NPO法人、自主防災組織、地域サークル団体などの連携体により実践

<実践活動の例>

- ・大人と子どもが参加する防災学習会等の実施
- ・子どもや住民が防災ボランティア活動へ参加
- ・乳幼児を対象とした防災教育の実践活動
- ・防災教育コーディネーターの育成に資する取組
- ・災害教訓継承活動など、実践的な防災意識の向上 等



コミュニティ防災教育活動の実践
(様々な人々と繋がって取り組む)

成果物

優良事例集、防災教育手引き（ノウハウ集）
普及用コンテンツの作成 等

<成果物の普及>

- ・シンポジウムの開催（学術研究団体等と連携）・学校や公民館等への配布
- ・防災推進国民大会（ぼうさいこくたい）等における情報発信 等

<効果検証・改善（R8以降）>

- ・成果物を活用した実践活動の継続的实施による、成果物のブラッシュアップ

効果

**地域住民の防災意識の向上
地域防災力の向上**



**子どもたちの、人を思いやる心、人を
助ける心を育むことにつながる**



**地域と学校が連携することで、学校や
教員の負担を軽減することができる**

